

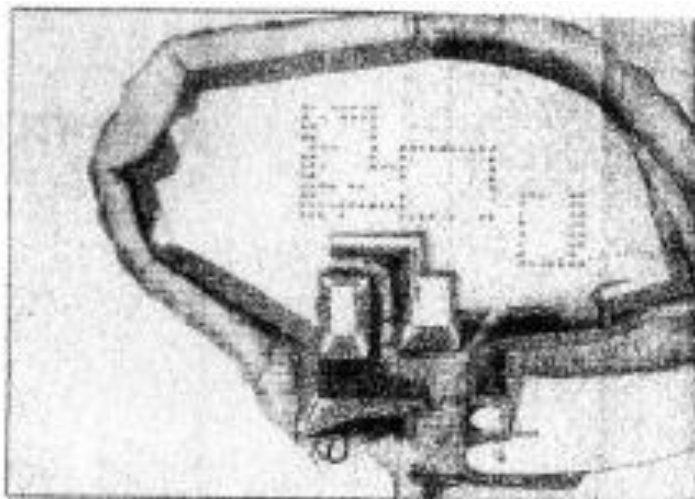
勝本城(風本城, 武末城, 雨瀬包城)(壱岐市勝本町坂本触)(城山公園)

勝本城(かつもとじょう)は、安土桃山時代に現在の長崎県壱岐市勝本町坂本触に築かれた城である。別称風本(かざもと)城・武末城・雨瀬包(あませかね)城。

概要

豊臣秀吉が文禄・慶長の役に際して本陣の名護屋城から朝鮮への経由地となる壱岐と対馬に兵站基地となる城を築くことを命じ、壱岐においては島の領主である松浦鎮信が主に築城にあたることになった。1591年(天正19年)夏から工期約4ヶ月というごく短期間に築かれ、文禄・慶長の役を通じ利用された。1598年(慶長3年)に秀吉が没し朝鮮から撤兵した後は建物は取り壊され、現在は勝本港を望む城山の山頂部に本丸跡の石垣や礎石群が残されており、城山公園として整備されている。公園内に城山稻荷神社が鎮座しており、本丸跡からは勝本小学校の先に勝本港、若宮島、辰の島、名烏島などが見える。

Wikipedia による



壱岐国勝本城址図(松浦史料博物館所蔵)